

ことができるか」であることが分かっているならば、カンタンに説明することができます。

直線が向かい風ということは、向正面が追い風だということです。JRAのコースは、直線競馬を除き、レースの序盤～中盤で必ず向正面を使用します。特にレース数の多い短距離～マイルでは、発走地点が向正面に当たることがほとんどです。前述のNHKマイルCが行われる東京芝1600mに至っては、向正面を端から端まで、直線距離よりも長く走ることになります。こうしたコースでは、スタート後に最加速地点となる2F目を追い風で駆け抜けることから、楽にペースを上げることができます。

以下、次のような流れになります。

【向正面追い風→直線向かい風】

- ・向正面の追い風で、先行馬が楽にペースを上げることができる
- ・ペースが上がることで道中の馬群が縦長になり、逃げ・先行馬と差し馬のポジション差が広がる
- ・追い風のおかげで余力をもって直線を迎えた先行馬は、直線向かい風でもなかなかバテない
- ・差し馬は直線向かい風でトップスピードが落ちるため、直線で道中の差を埋め切れない

直線が追い風の場合は、これの逆パターンになります。

【向正面向かい風→直線追い風】

- ・向正面の向かい風で、先行馬がペースを上げることができない
- ・ペースが落ち着くことで道中の馬群が凝縮し、逃げ・先行馬と差し馬のポジション差が狭まる
- ・向かい風のせいで体力を消耗して直線を迎えた先行馬は、直線追い風でも早々に脚が上がる
- ・差し馬は直線追い風でトップスピードが上がるため、直線で道中の差を埋め切れる